

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	三浦しをん「求めるものに答えてくれる」	配当時間	3
学習のねらい	○あらためて「本」を読むことの意味について考える。 ○特徴的な語り方に注意して、筆者の「本」に対する思いを読み取る。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「本」を読むことの意味について、筆者の語り方を通じて考えようとする。	「本」を読むことの意味について考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。	文章の内容から、筆者の考えを理解している。	記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	表現プラザ1 絵画をもとに物語を作ろう	配当時間	3
学習のねらい	○絵の細部にも注目しながら想像力を働かせ、「時・場所・人物」を意識して物語を構想する。		
学習指導要領の 言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとする。	書く目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぶとしている。	行動の観察
読む能力	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によくわかるよう具体的に説明する。	事実や事柄などを、対象に忠実にかつ正確に、読み手によくわかるよう具体的に説明している。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	記述の点検

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	茂木健一郎「最初のペンギン」	配当時間	4
学習のねらい	○人間社会の中での「最初のペンギン」とは、どのような存在なのかを読み取る。 ○「最初のペンギン」の行為に潜む生命の本質と人間との関わりに関する論理を読み解く。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	具体例がどのようなものであり、どのような意味をもっているのかを捉えようとする。	「最初のペンギン」とは生物界ではどのような存在であり、 どのような役割を担っているのかを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	新しい発想や着眼点から書かれた随想を読み、人間と、人間が生きる社会とはどのようなものなのかを捉える。	「最初のペンギン」のような存在は、人間社会の中ではどのような役割を担っているのか、筆者の考えを理解しているのかを捉える。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	太田光「アマガエル」	配当時間	3
学習のねらい	○小さなアマガエルに映し出される少年の繊細な感受性と心の変化を，叙述にそって読み取る。 ○視覚・聴覚による感覚表現と，主人公の心象表現との関わりや，その表現効果を捉える。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり，語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	角田光代「旅する本」	配当時間	4
学習のねらい	○「本」との関わりをとおして「私」の人生への向き合い方を考える。 ○物語の構成や描写に注目して小説を読み味わう。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり，語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	行動の観察
読む能力	人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。	人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	高畑勲「眼差しを交わす喜び」	配当時間	3
学習のねらい	○筆者が絵を見るという行為をどのように捉えているか、そして絵の中に何を読み取っているか、考えを深める。 ○「絵画」の中に読み取った感覚的世界を表現する筆者の文章の工夫を捉える。		
学習指導要領の 言語活動例	イ 外国の文化との関係なども視野に入れて、文章の内容や表現の特色を調べ、発表したり論文にまとめたりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	表現プラザ2 広告の世界 キャッチコピーコンテスト	配当時間	3
学習のねらい	○広告の構成について理解し，その役割表現の特色について理解することができる。		
学習指導要領の 言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり，語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	実用的な文章の意図を捉え，共感したり，疑問に思ったり，思索したりしようとする。	実用的な文章の意図を捉え，共感したり，疑問に思ったり，思索したりしようとしている。	行動の観察
読む能力	広告のねらいや表現の仕方について理解する。	広告のねらいや表現の仕方について理解している。	行動の観察
知識・理解	広告表現の特色について理解する。	広告表現の特色について理解している。	行動の観察

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	福岡伸一「絶え間のない流れの中にある生命」	配当時間	4
学習のねらい	○生命現象の不思議について考える。 ○実験や事例を手がかりにして、筆者が考える生命現象の本質を理解する。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	事例を手がかりにして、筆者が考える生命現象の本質を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の意見と論理の展開を理解し、整理しながら文章を読む。	個々の事例の働きと展開を意識しながら、文章を読んでいる。	発言や行動の分析
知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	川上弘美「境目」	配当時間	3
学習のねらい	○「境目」がもつ不思議について考える。 ○事例を手がかりにして、「境目」がもたらすことの意味を理解する。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで，言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通じて，筆者の思考を想像力豊かに読み取ろうとする態度を身につける。	想像力を働かせながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	事例を手がかりにして，「境目」がもたらすことの意味を理解する。	事例を手がかりにして，「境目」がもたらすことの意味を理解している。	発言や記述の分析
知識・理解	表現の特色を理解する。	文体やレトリックなど，表現の特色について理解を深めている。	発言や記述の分析

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	鷲田清一「モード化する社会」	配当時間	4
学習のねらい	○筆者の主張する「モードの論理」を読み取り，現代社会について考えを深める。 ○具体例や外来語の意味に注意しながら，筆者の主張を読み取る。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ，それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章を読むことを通して，視野の拡大と思考の深化を目指す。	筆者の考えをもとに自分の考えを深め，発展させようとしている。	記述の分析
知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	複合語や連語などについての理解を深めている。	記述の分析

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	姜尚中「人はなぜ働くのか」	配当時間	4
学習のねらい	○人はなぜ、働くのだろう。 ○働くことの意味とはなんだろう。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	表現プラザ3 自分の思いを表現する（江國香織「とるにたらないものもの 輪ゴム」）	配当時間	3
学習のねらい	○筆者の文章を参考にしながら，自分の経験を交えて文章を作成する。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり，語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	読むことを通して，書き手の文章の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	筆者の語り方に注意しながら，文章を読もうとしている。	発言や行動の分析
書く能力	文章の展開例を理解した上で，自分の経験や思いを整理する。	個々の言葉のつながりと展開を意識しながら，文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	わかりやすい文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	夏目漱石「夢十夜」	配当時間	5
学習のねらい	○夢の中のイメージの飛躍を楽しむ。 ○想像豊かに読み取り，独特の世界を味わう。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり，印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり，語句の用いられ方について理解を深めたりすること。 エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し，様々な資料を読んで探究して，言語文化について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「夢」として構成された一見荒唐無稽なイメージの連なりの中に，人間の存在の奥深さが表れている。現実とは異なるリアリティーの世界を読み取っていく中で人のこころというものの不可思議について考える。	比喩や象徴的表現に興味をもって読解しようとし，「夢」というものの不思議な世界に興味をもち，この作品を通じて考えを深めようと努めている。	行動の観察
読む能力	「夢」の飛躍するイメージによってしか表現できない不可思議な心のあり方を，叙述を正確に追いつかんでいく。「夢」として構成された作品の意味についても考える。	描かれている場面を的確に映像化し，具体的なイメージとしてとらえられる。また，「夢」の象徴的な表現から，その底に隠されている人間の根源的な願望についても考えをめぐらしている。	記述の確認
知識・理解	基礎的な語彙と文章に即した慣用句，詩的な表現技巧などに慣れ，文章表現に生かせるようにする。	一語一語が丁寧に組み立てられた作品であることを理解し，その中に使われている個々の語のイメージを正確に読み取ることができるとともに，ことばに対する感覚を豊かなものにしていく。	行動の観察

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	中島敦「山月記」	配当時間	5
学習のねらい	○主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。 ○漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにする。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、言語文化について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の話の展開のおもしろさを理解しようとする。	中国の古典を基にした虎への変身譚のおもしろさがどのようなところにあるのか、理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	自己を物語ることにより、主人公が自己をみつめ、変貌していく姿を読み取る。	主人公・李徴が苦悩し、破滅し、再会した旧友に自らを語ることにより、自己をみつめ、変貌する姿を捉えている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	小説の構成について理解する。	小説の緊密に計算された構成について理解している。	行動の確認

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	ウォーミングアップ 文章を視写しよう①～⑤	配当時間	各1
学習のねらい	○文章を視写する活動を通じて、語彙を豊かにし、文章の要点をつかむ技術を身につける。		
学習指導要領の言語活動例	ア 文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	視写を通じて、題材やテーマについて考察しようとする態度を身につける。	視写を通じて、ものの見方や考え方を広げようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の展開をたどりながら文章を読む。	文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。	記述の点検
知識・理解	段落構成の関係を理解する。	段落相互の働きについて理解を深めている。	発言や記述の分析

三省堂『現代文A』（現A303）評価規準例案資料

教材名	文学の名作1～5・近現代文学史（資料編）	配当時間	各1
学習のねらい	○表現に即して時代背景と表現の特徴を読み取り，近代の文章を想像力豊かに読み味わう。		
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ，それについて話し合ったり批評したりすること。		
学習指導要領の 指導事項	エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し，様々な資料を読んで探究して，言語文化について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	近代文学の世界を，想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して，内容を味わいながら文章を読もうとしている。	行動の観察
読む能力	表現に即して時代背景と表現の特徴を読み取ろうとしている。	表現に即して時代背景と表現の特徴を読み取っている。	発言の分析
知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について，理解を深めている。	発言の分析